



泊小学校だより
～潮風の中でたくましく～

令和元年 8 月 2 7 日

第 10 号 校長 山本 洋介

4 月 1 8 日（木）に 6 年生を対象に実施された平成 3 1 年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査について報告します。

平成 3 1 年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査結果

1 学力調査結果 平均正答率（％）

	国語	算数
泊小学校	75	75
鳥取県	63	66
全国	63.8	66.8

- ・国語・算数とも平均正答率で県平均及び全国平均を上回っている。
- ・国語は、「話す・聞く」「書くこと」（本校の研究領域）「読むこと」「言語事項」のどの領域も県平均及び全国平均を上回っていた。
- ・算数は、「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」の領域で「図形」領域が全国平均及び県平均を下回っていた。
（2 つの合同な図形を合わせてつくる形を選ぶ問題での正答率が低かった。）

【今後の取組として】

- ・新出漢字を学習するときに間違いやすい同音異義語と一緒に学習したり、同じ形（部首）が含まれる漢字が入った文章の書き取り問題（短文づくり）などに取り組んだりすることで、漢字の持つイメージや意味についても丁寧に指導していく。
- ・算数の学習では、どこの図（式）が何を示しているのかみんなに伝わるように、ホワイトボードなどを使って説明する機会をつくる。自分の方法で解答できたからよしとするのではなく、友達の説明を聞き、よりよい方法を見つけていく過程を大切にする。その際、算数用語を使って説明する習慣をつける。

2 児童質問紙調査結果（％）

（1）生活習慣に関する項目について

- 「朝食を毎日食べていますか」

食べている（本校 75、県 88.5、全国 86.7）

- 「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」

寝ている（本校 31.3、県 40.6、全国 38.9）

- 「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」

起きている（本校 56.3、県 59、全国 58.7）

*** 昨年度末に生活習慣の課題が挙がっていたが、6 年生の調査結果にもこの課題が表れている。「早寝・早起き・朝ご飯・歯みがき」の取組も合わせて、生活習慣への意識を高めた。**

（2）自尊感情に関する項目について

- 「自分にはよいところがあると思いますか。」

ある＋どちらかといえばある（本校 75、県 81.7、全国 81.2）

- 「先生は、あなたのよいところを褒めてくれますか。」

褒めてくれる（本校 12.5、県 46.9、全国 43.1）

- 「家の人と学校での出来事について話をしますか。」

している＋どちらかといえばしている（本校 68.8、県 76.6、全国 77.4）

*** 家庭と協力して「認める」ことをしていきたい。また、子どもたちとの関わりを深めることや声のかけ方を考えながら「伝えるべき事」「認めるべき事」等を含めた指導・支援を行っていきたい。**

（3）自分の夢や目標に関する項目について

- 「将来の夢や目標を持っていますか」

持っている（本校 43.8、県 63.5、全国 65.9）

- 「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことはありますか」

ある（本校 62.5、県 79.2、全国 79.5）

- 「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している」
している(本校18.8、県30.6、全国30.1)

***夢を持ったり、目標を定めたりして、それに向かってやり遂げたり、挑戦したりする気持ちを育てていきたい。**

(4) いじめに関する項目や学校生活に関する項目について

- 「学級みんなで話し合っただけで決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことはありますか」

ある+どちらかといえばある(本校93.8、県85.8、全国84.1)

- 「学校に行くのは楽しいと思いますか」

思う+どちらかというと思う(本校93.8、県84.6、全国85.8)

- 「人が困っているとき、進んで助けていますか」

助けている+どちらかという助けている(本校93.8、県88.2、全国87.9)

- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」

思う+どちらかというと思う(本校100、県97.3、全国97.1)

***学校の中で友だちとよい関わりをしていると感じる。前向きに豊かな気持ちが持ち続けられるようにしたい。**

(5) 読書等に関する項目について

- 「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)」

30分以上している(本校18.9、県37.4、全国39.8)

- 「昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか」

週に1回以上行く(本校68.8、県47.2、全国40.5)

- 「読書は好きですか」

好き(本校25、県42.8、全国44.3)

- 「新聞を読んでいますか」

週に1回以上読んでいる(本校43.8、県23、全国19)

***図書館へは通っているが、1日の読書時間は県や全国に比べて少なくなっている。また、読書を好む児童の数も多くない。ただ、新聞を読む児童数は、県・全国に比べて多くなっている。**

(6) ふるさと学習に関する項目について

- 「今住んでいる地域の行事に参加していますか」

している(本校56.3、県51、全国37.2)

***ふるさと学習をしたり、地元食材給食の食育指導も加え、自分たちのふるさとが自慢できるようなことを今後も進めていきたい。**

(7) 外国の人との関わりに関する項目について

- 「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか」

思う(本校18.8、県37.6、全国39.2)

- 「日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか」

思う(本校37.5、県45.6、全国46.7)

***外国語科は、次年度より本格実施になるが学習の中での積極的な活動、ALT交流や修学旅行での外国の方との交流等どんどん進めていきたい。**

(8) 主体的・対話的で深い学びに関する項目について

- 「学校の友達との間で話し合う行動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」

思う+どちらかといえば思う(本校68.8、県74、全国74.1)

- 「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか」

思う+どちらかというと思う(本校50、県78.5、全国74)

- 「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか」

思う＋どちらかということそう思う(本校62.5、県78.7、全国80.9)

***ペア学習、グループ学習等の話し合い活動を通じて、考えを深めたり、広げたりすることを含めて児童の主体的な力の部分を育てていきたい。**

(9) 国語の勉強について

- 「国語の勉強は好きですか」

好き(本校6.3、県25.4、全国26.5)

- 「国語の授業の内容はよく分かりますか」

分かる＋どちらかといえば分かる(本校93.8、県85.1、全国84.9)

- 「国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか。

活用しようとしている＋どちらかといえば活用しようとしている

(本校100、県78.1、全国76.9)

- 「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていますか」

している(本校37.5、県31.9、全国36.2)

- 「国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように理由を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫したりしている」

している(本校31.3、県22.5、全国26.1)

- 「国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、文章や段落どうしの考えたりしながら読んでいますか」

読んでいる＋どちらかといえば読んでいる(本校75.1、県69.9、全国71.4)

- 「今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか」

全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した(本校75、県81.6、全国80.6)

***国語好きは、県・全国に比べ少ないが、内容理解は進んでいる。また、子どもたちは意欲があり「～しようとしている」項目が多い。しかし、やり遂げることにについては(最後まで解答を書くこと)課題が表れている。持っている力を出し切っていくためにも、課題を克服させていきたい。**

(10) 算数の勉強について

- 「算数は好きですか」

好き＋どちらかということ好き(本校50.1、県63.1、全国68.6)

- 「算数の授業の内容はよく分かりますか」

分かる＋どちらかということ分かる(本校75.1、県79.2、全国83.5)

- 「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか」

考える＋どちらかといえば考える(本校68.8、県73.8、全国76.5)

- 「算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか」

思う＋どちらかといえばそう思う(本校75.1、県78.4、全国79.1)

- 「算数の問題の解き方が分からないとき、諦めずにいろいろな方法を考えますか」

考える＋どちらかといえば考える(本校62.5、県82.3、全国82)

- 「算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか」

考える＋どちらかといえば考える(本校81.3、県90、全国92.1)

- 「算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか」

している＋どちらかということしている(本校81.3、県83.9、全国84)

- 「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか」

書いている＋どちらかといえば書いている(本校100、県87.6、全国87)

- 「今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか」

全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した

(本校93.8、県81.8、全国80.7)

***算数では、ノートに書こうとすることや問題を全部解こうとする「～しようとしている」ところの数字は県・全国より高くなっている。この意欲を継続していけるような支援を続けたり、分かるということの実感が伴うようにしたい。**